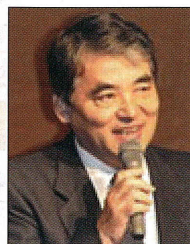


熊本地震緊急医療支援活動と南海トラフ災害対応プラットフォーム



右(指定発言):岡山大学・三好新一郎教授
左(座長):岩垣院長



AMDAグループ代表
菅波 茂

日本人は信用できるが、信頼できない。

アフリカのザンビア人の親しい友人が私に言いました。「日本人は信用できるが、信頼できない」と同時に「英国人は信用できないが、信頼できる」と。信用の反対語は騙す。信頼の反対語は裏切る。「日本人は騙さないが裏切る」が、「英国人は騙すが裏切らない」ということです。もっとわかりやすく言うと、「日本人は本当に困った時にはいなくなるが、英国人はそばにいてくれる」ということです。中国人も言います。「本当に困った時に助けてくれるのが真の友達」と。世界の間人関係の基準は「信頼」であり「裏切らない」ことです。相手から究極の「信頼」を得た時の確証は「家族付き合いをしたい」です。「家族は裏切らない」が世界の間人関係の具体的な基準です。言い換えれば「掟」です。「家族」とは重みのある言葉です。

もし、家族の平和を定義するなら、「家族の今日の生活と明日の希望が実現できる状況」です。家族の今日の生活とは健康で食べられること。明日の希望とは子どもに教育を受けさせること。家族の平和を阻害する要因は紛争、災害そして貧困です。この時に人は嘆きます。「どうしてこのような目に合わなければならないのか」と。これを不条理の世界と言います。人は更に続けます。「助けてくれ、救ってくれ、見放さないでくれ」と。不条理の世界に嵌った人のそばに居るのが真の友人であり、裏切らない人です。

私はAMDAグループの代表です。1984年にAMDAを設立しました。現在では国連経済社会理事会総合協議資格を2006年に世界で137

番目に認定された団体として世界32ヶ国に支部があります。(図1)総合協議資格は国際赤十字委員会、国境なき医師団、国際ロータリクラブなどと同等の資格で国連機関に政策提言ができます。世界の人は言います。「岡山?どこにあるの。東京ではないの」と。AMDAがここまで大きな世界の団体に成長したのは何を目的にして何を行ってきたかです。私には海外留学経験はありません。英語も高校生英語です。福山市神辺町で生まれ、18歳の時から岡山に住んでいます。世界的には完全にローカルな存在です。したがって、日本人のアイデンティティを考えて目的を設定しました。次の3点です。一つは他人に迷惑をかけるはいけない。二つはうそを言うてはいけない。三つは困ったときは助け合う。この困ったときには助け合う社会慣習である相互扶助は世界でも優れたものです。AMDAは日本の常識である「困ったときにはお互いさま」の相互扶助のコンセプトを世界に啓蒙普及することを目的としています。具体的には紛争、災害そして貧困のプロジェクト・プログラムを実施することにより相互扶助のコンセプトを理解してもらってきています。なぜ人権のコンセプトでないのか。「援助を受ける側にもプライドが

ある」という人間の究極の尊厳を人権のコンセプトではカバーできません。「今日はあなたが困っているから助けに来ました。明日に私が困ったときには助けに来てください」の相互扶助のコンセプトは助けられる側のプライドを傷つけませんし、世界の人が理解できます。簡単に言えば、「Local Thinking, Global Action」です。「岡山発!世界展開」です。

AMDAは「開かれた相互扶助」を提唱しています。開かれたとは英語でOPENです。家族、民族、宗教など従来の相互扶助の枠を超えて助け合おうという意味です。お互いに助け合っているうちに信頼の間人関係が生まれます。これによって物の見方や考え方が違う人たちが共栄共存することができます。簡単に言えば夫婦関係もそうです。この共栄共存が世界平和への第一歩であると考えています。大切なことは相手が不条理の世界に嵌った時には必ず助けに行くことです。「AMDAは必ず来る」という伝説化するところまでです。

現在までに65ヶ国で170件の難民や災害被災者救援医療活動を実施しています。(図2~6)一人の死傷者もだしていません。誰と組むかがポイントです。裏切らない人と組むことで

開かれた相互扶助による信頼形成
尊敬と信頼の相互扶助ネットワーク
AMDA多国籍医師団

プロジェクト実施国7か国
緊急人道支援活動実施国
53か国170件
(2018年4月末現在)

世界に広がるAMDA支部 32か国

1984年AMDA 発足

国連・経済社会理事会
総合協議資格に昇格

パナマシティ(2005年)
マニラ(2005年)
岡山大学(2006年)
韓国(2007年)
私立東海(2007年)
アズカ(2007年)
高松大学(2009年)
岡山県立大学(2010年)
岡山国際保健大学(2011年)

図 1



図 2

す。裏切らない人には2種類あります。一つは人を裏切る必要がない人。二つは人を裏切れない社会的地位にいる人。人を裏切る必要がない人には特徴があります。自分の時間、自分のお金、そして自分の大切な人脈を他の人の喜びのために提供します。自分が他の人から信頼されているのか否かのチェック項目にもなります。簡単ですが、信頼の世界基準です。更に重要なコンセプトは「ローカルイニシアチブ」です。被災地のことを一番よく知っている人の判断で動くことです。世界の常識は「金を出したものが命ずる」ことです。これは危険です。金で解決できないことがたくさんありますから。特に日本人が理解できないことは、世界の常識は「血縁共同体」社会で、目に見えない人間関係で動いていることです。アジアやアフリカは第二次世界大戦前までは日本など少数の国以外は欧米の植民地でした。自分で判断することは禁止されていました。「金を出しても判断を任せる」という新機軸の「ローカルイニシアチブ」のコンセプトは本当に喜ばれます。信頼されている喜びは彼らの宝中の宝である人間関係をどんどん出していきます。このことこそが危機管理のエッセンスになります。



図 3



図 4



図 5

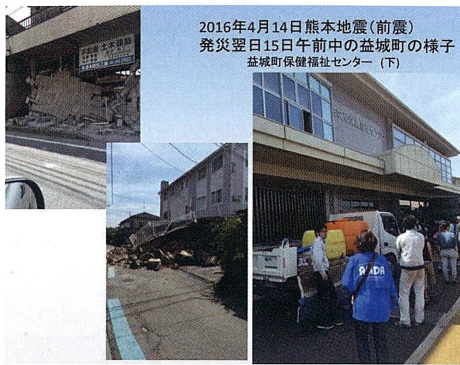


図 6

5月30日に福山医療センターの皆様にはAMDA南海トラフ災害対応プラットフォーム(図7~11)の説明をさせていただき、南海トラフを起因とした地震と津波が発生した時に被災者救援医療活動に参加していただける協定を結ぶことが成立して本当にうれしく思っています。

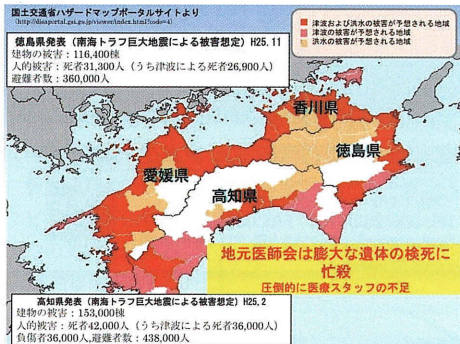


図 7



図 8



図 9

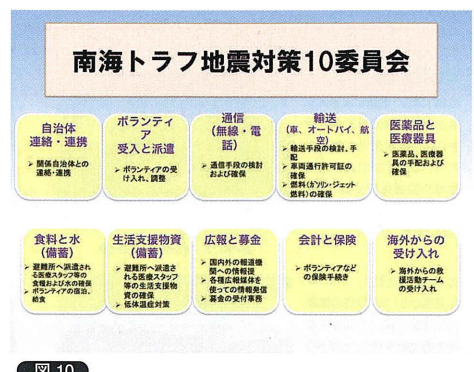


図 10

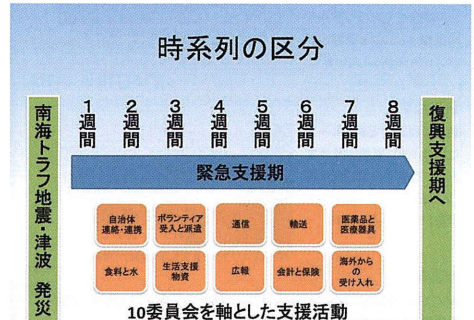


図 11

このような機会をいただいた岩垣博己院長先生には今日のAMDAに至る過程で大変お世話になっています。1984年にAMDAを設立するまでに15年間の準備期間がありました。1969年の岡山大学紛争の時のアジアへのほろほろ旅から始まり、クワイ河医学踏査隊、アジア伝統医学研究会そしてアジア医学生連絡協議会の設立と活動です。岩垣博己先生にはアジア伝統医学研究会の設立メンバーとして、当時のホメイニ革命前夜のイランまで調査活動していただきました。「未知への関心と挑戦」に体当たりする気構えこそ岩垣博己先生の魅力であり、人としての器形成の根源と確信しています。

AMDAの「開かれた相互扶助」の世界への啓蒙普及活動に参加していただければこれに勝る喜びはございません。ご理解していただけるだけでも望外の喜びです。



末筆ながら福山医療センターに関係されている方々のご健康と福山医療センターのますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

緊急支援活動

地震・津波・台風による洪水など自然災害の被災者や紛争により難民生活を強いられている人々に対して、巡回診療や医療施設支援、生活支援物資の配布などを実施しています。



2009年/バキスタン洪水被災者に対する緊急医療支援活動

復興支援活動

数週間から1カ月程度の緊急支援活動の後、1年程度の復興支援活動を行うことがあります。復興支援活動では、地震で倒壊した保健センターの再建や津波被害で破損した医療器材（フックン保冷用冷蔵庫など）の寄贈等のプロジェクトを実施しています。



東日本大震災復興支援6ヵ年計画実施中 AMDA大塚健康サポートセンター

医療と平和

敵対（相反）する両グループに同じように医療を提供することで平和構築に資することを目的とした「医療と平和事業」を実施しています。



2012年スリランカ医療と平和 無料白内障手術事業

中長期事業

AMDAヒースクリニック（インド）運営など海外の医療施設（病院）支援や医療人材の育成などを行っています。

教育関連事業

次世代を担う学生の育成にも力を注いでおり、おみやま国際塾の開催のほか、海外でのエデュケーションプログラムを実施しています。

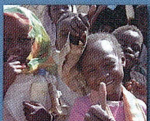


2011年おみやま国際塾 モンゴル研修

AMDAは相互扶助精神「困った時はお互いさま」の心で、国内外で発生する自然災害被災者の支援にあたっています。



「ローカル・イニシアチブ」、すなわち「現地の人が一番よい解決法を知っている」との考えにより、徹底した現場主義に基づいた活動を行っています。



「人道援助の三原則」

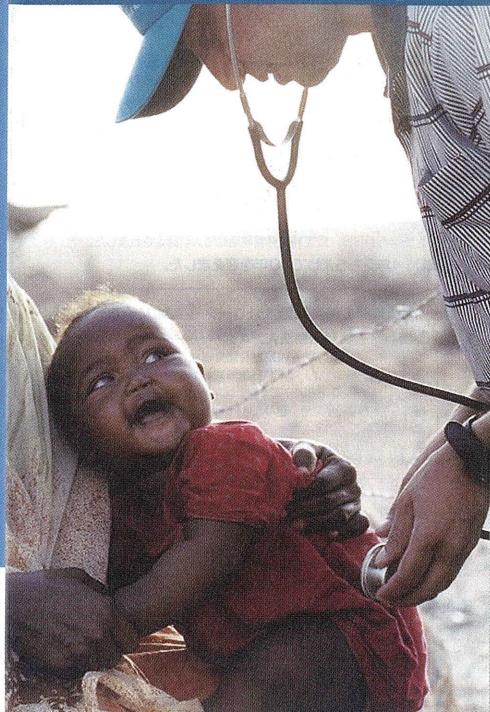
1. 誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある
2. この気持ちの前には、国境、民族、宗教、文化の壁はない
3. 援助を受ける側にもプライドがあるを活動成功のカギとらえています。



救える命があればどこへでも

国連経済社会理事会「総合協議資格」NGO
認定特定非営利活動法人 アムダ

AMDA



認定特定非営利活動法人 アムダ AMDA

The Association of Medical Doctors of Asia
〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1
TEL:086(252)7700 FAX:086(252)7717
Email:member@amda.or.jp URL:http://amda.or.jp



AMDAは

平和を阻害する戦争・災害・貧困に苦しむ人々を支援しています

1984年、岡山市に設立。紛争による難民や災害の被災者に対して保健・医療を中心とした支援を行ってきました。

現在では、世界30カ国に支部を持ち、紛争や災害が発生した際には、支部のネットワークを活用して多国籍医師団を結成。これまでに、世界58カ国、164件（2015年5月現在）の緊急支援活動を実施してきました。

2006年には、国連経済社会理事会から重要なパートナーとして認められた結果、日本のNPO法人としては初の「総合協議資格」を得ました。

2013年5月8日 認定特定非営利活動法人に認定されました。
2014年をもちまして30年を迎えました。

尊敬と信頼の相互扶助ネットワーク AMDAグループ

- 認定特定非営利活動法人アムダ
- 認定特定非営利活動法人AMDA社会開発機構(086-232-8815)
- 認定特定非営利活動法人AMDA医療情報センター(東京:03-5285-8088)
- アムダ国際福祉事業団 AMDA International AMDA支部(海外)
- AMDA兵隊
- AMDA支部(国内) 神奈川支部・沖縄支部
- AMDAクラブ(国内各地) AMDA中学高校生会



今日から国内外の人道支援の活動に参加する

- ・会員になる
会報誌やイベントのご案内をお届けします
医師会員 15,000円
一般会員 10,000円
学生会員 3,000円
法人会員 30,000円
賛助会員 2,000円
- ・寄付をする
活動全般・用途を指定した寄付
企業の活動売上・応募件数・契約金額などに
応じた寄付
イベント・キャンペーンの収益を寄付
- ・募金活動をする
募金キャンペーンや募金箱設置
- ・リサイクル活動により支援する
未使用切手・ハガキ・書き損じハガキを寄付
- ・国際交流イベント等でAMDAの活動パネルを展示する
- ・ボランティアに参加する
事務所内作業・イベント等にグループや個人として参加
- ・医師・看護師など医療従事者が自然災害等の緊急救援活動に参加する
「ERネットワーク」にご登録ください。お問い合わせはAMDA事務局まで
- ・インターンとして参加し経験を積む

主な受賞歴

- AMDA表彰
1993年 外務大臣表彰
1995年 第28回岡山県三木記念賞
第2回読売国際協力賞
第7回毎日国際交流賞
1996年 厚生大臣表彰
山陽新聞賞
2004年 第2回沖縄平和賞
2005年 防災担当大臣賞
- AMDAグループ代表菅波茂樹個人表彰
1995年 第2回国連プロダス・ガリ賞(日本人初)
2001年 第34回岡山県三木記念賞
2003年 第37回吉川英治文化賞
2007年 ガンジー人道支援賞(インド)
グシ平和賞(フィリピン)
シブチ国家勲章オフィシエ賞(勲4等)(シブチ)
2010年
2012年 山陽新聞賞

これまでの主な活動歴



これまでの緊急支援活動は58カ国164件（2015.5現在）さらに中長期の事業も実施しています